

北海道大学体育会山スキー一部山行報告書

記入者 杉田 想土

(目的) サマースキー (目的地) 旭岳周辺
(期間) 2000.5.31-2000.6.6 (地図) 旭岳 愛山溪温泉 黒岳 白雲岳 1/25000
(人員)

L 杉田 想土 HUSV3 理 物理3 シルバーロッジ
SL 森岡 陽太郎 HUSV2 工 物工2 恵迪寮
M 三浦 康 HUSV1 理 物理1 自宅

(装備)

<共同> マキシム フライ バンブー スベア メタ マンドリン 盆 軍手 雑巾
灯油 4.0 ガスヘッド ガスカートリッジ大3 なべ2 手なべ エッセン井
エッセンスプーン お玉 フライパン ローソク2 ラジオ ラジカセ カメ
ラ 針金 医療 無線 修理 ノコ スコ2 水ポリ3 針デポ5

<個人> SS標準 (Lは+テレマーカー式)

<予定の行動>

5.31 札幌=旭岳温泉-天女ヶ原C1
6.1 C1-旭岳石室-中岳温泉AC
6.2 周辺スキー
6.3 周辺スキー
6.4 AC-BC
6.5 周辺スキー
6.6 BC-石室-旭岳温泉=札幌

<実際の行動>

5.31 札幌=旭岳温泉-天女ヶ原C1
6.1 C1-旭岳石室C2
6.2 C2-中岳温泉AC
6.3 AC-温泉沢入口-AC
6.4 AC-中岳分岐-AC-渡渉点-AC
6.5 AC-旭岳-AC
6.6 AC-石室-旭岳温泉=札幌

(行動詳細)

5/31 晴れ

札幌(6:30-7:00)=旭岳温泉(11:50-13:35)-天女ヶ原C1(15:55)

寮裏に集合し、森岡カーで出発。いきなり誤って高速道路に載ってしまう。すぐ降りた
がショック。途中、旭川のダイエーで肉、魚などを買い足す。車からなにやら山が見えて
きても、その黒々とした山が旭岳であるとわかるのにかなりの時間を要した。今年は一昨
年ほどではないが、昨年と比べると大分雪が少ない。例年並か。

旭岳温泉に着くと、ロープウエーの建物がほぼ完成し、試運転も行ってた。4年目か
らの差し入れ持ちジャンに三浦が敗れ、カニらしきものを持つことになる。外付けしても

バランスが悪く大変そうなので、黒崎Pよりそりを借りて引きずっていくことにする。始めしばらくは夏道が出ていた。そりは、緩やかで斜めっていない斜面ではかなり使える。皆それなりに重く結構疲れた。

(本日のディナー) ミートボールシチュー

6 / 1 晴れのち曇り、ときどき雨

C 1 (3:30-7:00) - 旭岳石室 C 2 (9:30)

天気予報では晴れのち曇り、ときどき雨。逃げ切りを目指し出発する。雪の多いフリコ沢を経由して盤の沢に入る。途中、三浦の差し入れそりがゴクそうなので、多田Pの今にそりを託す。いぜんゴクそうではあるが、大分ペースが上がる。少しずつ雲が増えてくる。

石室は倒壊の危険のため立ち入り禁止となっている。傾いたり、ひびが入ったりしていた。進めるかどうか話していると雨が降ってきたので、石室に泊まることにした。しかしこの雨はしばらくするとやみ、その後も夕方までそれほど悪くはならなかった。SLスペシャルはカニと牛乳(一人1リットル)。牛乳が低脂肪乳なのはイマイチだけど、お疲れ様でした。暇なので夏道尾根に突撃に行き、チョロっと3本滑った。リーダーはこの時以外ほとんど使われなかったテレマーク。まあまあ。

(本日のディナー) エビチリ

6 / 2 晴れときどき曇り

C 2 (4:00-7:15) - 1724 (9:15-9:30) - カワノメ下の岩 (11:20-13:20) コカワノメ - 中岳温泉 AC (13:50)

3時半起床の予定が起きてみるとすでに4時。急いで飯を食い、パッキングする。トラバリではそりは使えないのでSLに差し入れを持たせ、出発。結構荷物が減っているので、意外と余裕そう。天気はよいがときどきガスる。雪は少なく去年のようにスキーでびゅーっとは行けない。N下の段差を他パーティーは上を行ったが我がパーティーは下を巻いた。

カワノメ下の岩に着き、スイスロールを食べてカワノメを滑りに行く。右股を登るが、石が結構転がっている。急になる手前から滑ったが、雪質よくなりあまり面白くなかった。どこぞの6人パーティーが温泉に向かって行くのが見えた。

温泉に着くと先ほどのパーティーがすでにテントを張っている。フラテであった。温泉前スロープを滑って遊んでいたがかなりうまい。温泉前スロープは短いが、ところどころ急でクラックもありスリリングなスロープ。山板山靴であれだけ滑れるのはすごい。多田の真似してジャンプしてる人もいた。テン場を作っていると、フラテに先に温泉に入られ、ショック。今年も2人女の子が水着も着ずに温泉に入っている。なかなかしゃべらない三浦だが、この話題になるとよくしゃべる。すけべ。温泉前スロープに突撃に行く。三浦はそり。結構面白い。

カニだと思っていた4年目からの差し入れをあけてみるとホタテだった。

夜は温泉に入る。やはり温泉はよい。

(本日のディナー) うなぎの蒲焼と海藻サラダ

6 / 3 雨のち曇り夕方から雷雨

A C (5:00-7:30) - 温泉沢入口 - A C (8:20)

今日は黒崎Pの山口がダウンしているので、黒崎と池内が一緒に行動。

朝それほど天気が悪くなかったのでとりあえずパッキングしたが、出発する頃には、視界がまったくなくなってしまう。ガス中行動の練習として、渡渉点まで森岡と池内トップで散歩に行こうとしたが雨が降ってきたので引き返し、温泉に入る。昼前に天気はよくなってきたが、テンションも上がらず雷注意報も出ていたので、テントでうだる。温泉前スロープに何本か突撃。夕方から雨とともに雷が鳴り出す。AMラジオにノイズが入る。

電源を切り忘れていたケータイが突然震えだし、誰かと思ったらOBの深田さんであった。明日温泉までくるといふ(しかし結局こなかった)。ケータイは旭岳周辺はどこでも入るので、持っていくとよいでしょう。

やがて雨が雪に変わり積もり始め、景色が冬に変わってしまった。

(本日のディナー) 鮭ご飯とコンソメスープ

6 / 4 曇りときどき晴れ

A C (5:30-7:35) - 中岳分岐 (8:20-10:10) - A C - 温泉沢入口 (10:50-12:10) - 渡渉点 (12:30-14:45) コアパッチ - A C (15:10)

今度は黒崎がダウンしたので池内と山口が一緒に行動。

朝起きると積雪は5センチ。ハタコロのひし形が白くなっている。天気よくないがとりあえず中岳分岐へ向かう。温泉沢の函のちょっと上には左岸に段差がある。中岳分岐で視界が全然なく、雷注意報も出ているので天気待ちをする。山口のギターとハーモニカでゆずを熱唱する。山口は指から血を流しながらギターを弾いていた。

天気よくなりそうもなく、寒いのであきらめて引き返す。帰りは温泉沢にすぐ下りてスキーで入口まで行く。大塚のコルにいる多田Pが見える。昼飯を食べていると晴れ間が見えたりした。具合が悪くなってきたという山口をA Cに帰し、渡渉点に向かうと多田Pに出会う。コアパッチを2本滑った後、OBの入村さんの差し入れのバットとボールで、下山後の温泉を賭け野球大会をし、A Cに帰った。

(本日のディナー) ワンタンスープ

6 / 5 晴れ

A C (5:00-7:40) - 旭岳ピーク (10:00-10:30) - 第1オングル上 (10:55-12:40) コ北大 - 旭岳ピーク (13:00-14:25) - A C (15:15)

待ちに待った好天。黒崎の体調がイマイチなので2パーティー一緒に動くことにして出

発する。カワノメ下の岩でやはり体調がよくないという黒崎をおいて行く。多田PのステップにのってNEを登る。途中から長靴に変えて雪のない尾根上をピークまで。やっと今サマースキーの初ピーク。3つ持ってきたP缶を全部食べる。

Eを少し滑りトラバって第1オングルの上にでてザックを置き北大を滑る。思ったより斜度はあった。不当に低い評価を受けているがやはりすごいスロープだ。景色は違うがテラスを3倍にしたよう。雪質はよくないがそれなりに面白い。いつものBCまで行く。段差は普通にあり、沢の水は少しだけ出ていた。登り返しは池内がステップをきりつつぶちぎる。うちのSLはひよひよ。体調のよくないらしい山口は大分遅れた。

再びピークまで戻り、うたをうたいホットケーキを焼く。ホットケーキはなかなか焼けず、全部食べきる前にリミットがきてしまったので、タネをビニールにしまって急いで出発しようとするも、本州から来たという人のよさそうなおじさんにつかまり、少しリミットを過ぎてしまう。帰りはEを滑りチベトンを経由して帰る。雪質が格段によくなり、やっと面白いスキーができた。チベトンはあまりスロープとして見られていないが実は結構面白い。

テン場に戻りみんなで差し入れのホタテと牛タン、スイカを食べる。炭になかなか火がつかず苦労する。薪に火をつけてから炭に火をつけた。とてもおいしかったが、三浦はホタテが好きではないようだった。差し入れでお腹がふくれ、時間もなくなってしまったので晩ご飯をカットした。

風がとても強くなり、夜中は雨が降った。

(今日のディナー) なし

6/6 曇り

AC (4:00-7:00) - 石室 (9:15-9:40) - 追悼現場 (10:10-12:00) - 旭岳温泉 (13:00)

朝起きると雨はあがっていた。パッキングしていると雨がポツポツ降ってきたのでカッパにする。はじめからつぼでカワノメ下の岩まで行く。雨はすぐやみ視界も∞だが風は強い。1724に向かってコンパスを切って進んだがブッシュにはばまれたので、ブッシュ沿いにN下の岩まで登ってからトラバる。強風で三浦がときどき動かなくなる。石室までくると風は弱くなった。スキーに変えて追悼現場まで行く。

今年もプレートは出ず。企画で雪合戦をしたが我がパーティーは2連敗でビリ。商品に青汁をいただいた。芸大会は日和ってしなかった。来年はやってください。

スキーコースを行けるとこまで行き、長靴に変えて下山。温泉は、下山服をしっかりと持ってきているので快適だった。帰りに滝川でタイジンに寄り札幌へ向かうが、近藤が覆面パトを抜き、つかまった。

(反省・感想)

<装備> ガス大1 灯油 2.8 ろうそく 0.5

×なし

<エッセン> 朝 180 夜 220

×差し入れの発泡スチロールの箱を風で飛ばして紛失。

○水ポリにガムテをはってまな板にするとよい。

<個人> 三浦 ×なし

○地図読みをもっと頑張れるぐらい余裕を持てるようになろう。

○ブッシュ嫌い。

○帰りは行きを忘れるぐらいつらい。

Lから－意思表示をめいかくに。

S Lから－上に同じ。

森岡 ×灯油こぼす。

×手なべひっくり返す。

×ねぼう。

○スキーもったしたかった。

○振り返ってみると、あんまり考えてなかった気がする。

Lから－もっと頑張れる。

Mから－「え～」が多い。

杉田 ×ねぼう。

○北大はビッグなスロープだ。

○チベトンも意外と面白い。

○天気読みは難しい。

○テレマークも難しい。

S Lから－お疲れ様でした。

Mから－テレマークにもっと乗ってあげればよかったのに。